2026 年 11 月 26 日
株式会社タカショー

2027 年 1 月期 3Q 連結決算報告～増収増益、営業利益は前年同期比 3 倍超の大幅伸長～

1. 収益構造改革の進展により、増収増益・利益大幅伸長を達成

当第 3 四半期連結累計期間は、成長領域への積極的な投資を継続しながら収益構造改革を着実に推進した結果、売上高は 159 億 24 百万円（前年同期比 103.9%）となり、増収を確保しました。主力のプロユース事業が前年同期比 106.2%と堅調に推移したほか、成長領域である非住宅分野も前年同期比 118.1%と高い伸びを示しました。利益面では、原材料コストの上昇が続くなか、収益力の抜本的な強化に取り組んだ結果、営業利益 4 億 63 百万円（前年同期比 316.6%）、経常利益 4 億 1 百万円（同 169.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益 26 百万円（前年同期より 73 百万円増加）となり、着実な成果を上げました。

（単位：百万円）	当第 3 四半期累計	前第 3 四半期累計	増減額	前年同期比（%）
売上高	15,924	15,325	599	103.9
営業利益	463	146	317	316.6
経常利益	401	236	165	169.8
四半期純利益	26	△46	73	－

2. グループシナジーを活かした高付加価値化と DX の推進

プロユース事業（売上高は前年同期比 106.2%）では、一般住宅市場において高付加価値商品の採用拡大により現場単価が上昇したほか、成長領域として注力する非住宅分野も公共施設・商業施設等への設計折り込みや大手飲食チェーンへの導入が進展し、同分野の売上高は前年同期比 118.1%と大きく伸長しました。また、株式会社タカショーデジテックにおいても、ライト・イルミネーションのプロジェクト案件の拡大により売上高は前年同期比 106.8%と好調に推移しました。さらに、株式会社 GLD-LAB.のデジタル技術とガーデンクリエイト株式会社の自社製造・オーダー対応力を融合し、デジタル提案から製造まで一体化したハイブリッド型の事業展開によりグループシナジーを創出しています。

3. 今後の展開について

当社グループは、中長期の成長ドライバーとして位置づける「非住宅」「海外」「デジタル」を軸に、事業ポートフォリオの高度化と収益性の向上を図り、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

プロユース事業では、最大の需要期である冬季を迎えるライティング商材と株式会社タカショーデジテックのイルミネーション事業との相乗効果により、下期業績を力強く牽引してまいります。あわせて、営業・製造プロセスの DX による一貫した効率化を推進し、2027 年開催予定の「GREEN×EXPO 2027（２０２７年国際園芸博覧会）」への単独 100 坪規模の出展を契機とした市場拡大を確実に捉え、非住宅領域での採用拡大を加速します。ホームユース事業では、多様なニーズに対応する新商品の市場投入と、高成長を続ける E コマース分野のさらなる拡充を進めます。

海外事業では、欧州の未開拓地域への営業展開や季節に影響されない大型商品の投入に加え、米国での現地調達体制の強化と大手ホームセンターとの新規取引による販売拡大を推進いたします。

これらの取り組みを通じて、当社グループは持続的成長に向けた事業ポートフォリオの再構築を着実に進めるとともに、社会的価値の創出と企業成長の両立を図る企業へと進化してまいります。

引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】
株式会社タカショー広報 IR 室　　TEL：073-486-2540　　Email：takasho_ir@takasho.co.jp